風の松原に守られる人々の会・会報・０１４号・平成２０年３月１０日

松風

発行：風の松原に守られる人々の会　事務局：郵便番号016-0895　秋田県能代市末広町9-18　秋林弘道方　電話0185-52-1582

会設立からの歩み

今号には平成19年9月から20年3月までの活動を記録。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

90　アリ地獄の補修や林道両側の枝刈り

9月1日と5日の二日掛かりでアリ地獄の草刈りとロープの張り替え、それに案内板の取り替えなど補修作業を行った。

「風の松原のアリ地獄」と名付けられた時に掲げられた看板も古くなって読みづらくなってきたのでこの機会に付け替えられた。

91　散策路両側の刈り払い

9月15日(土)9:30分、今月末から始まる秋田わか杉国体で能代を訪れる人に、風の松原を気持ちよく散策してもらおうと、大森稲荷神社周辺から

大森橋までの雑木刈り払いを年度当初にはなかった追加行事で実施。当日はクロマツ剪定講習会や他の行事も多く、参加者は12名。

92　県有林低木除去作業

年度当初から予定されていた県有林低木除去作業は9月21日(金)9:30から港湾道路のロケットセンターに向かう道路入口近くで行われた。

作業前の打ち合わせは昨年低木の刈り払いをした道路西側(海側)の林の中で。ここは浅内財産区の土地だという説明があった。クロマツは県有林。この場所の低木を刈り続けて今年で６年目。現在ではこの場所に秋田県が作った看板が立っている。

93　第３回ニセアカシア萌芽撃退作戦

10月5日(日)今年度第3回目のニセアカシア萌芽撃退作戦が行われた。作業場所は今回も能代一中プール後ろのクロマツ植栽地から日和山あづまやまで。

参加者は女性2名を含め11名。雑草の下になっているクロマツ苗に注意しながらの作業でした。あづまや付近に植えられたハマナスは草に覆われ、まったく見えない状態になっており、参加者一同この先を心配していました。10月にしては暑い日の作業でした。

94　酒田市からのお客様

10月14日(日)　酒田市の「万里の松原に親しむ会」の29名が当会との交流と風の松原の見学においでになりました。10時半過ぎから約1時間半サン・ウッドで会合。両会から会結成の経過と活動状況、課題や問題点の報告。その後、お互いの活動について意見交換をしました。昼食後全員で風の松原を散策しながら交流。当会からは鷲尾会長、浅野副会長と事務局の秋林が出席しました。

95　今年も修学旅行団

10月15日(月)今年も修学旅行団が風の松原へ。千葉県立市川東高校。風の松原に来たグループは41名(内男子9名)と教師2名。昼食はいこいの広場できりたんぽ鍋の「なべっこ遠足」を体験。

その後１時間くらいアリ地獄から大森橋まで松原横断コースを散策した。能代市から「風の松原に守られる人々の会」へガイドの依頼があり、鷲尾、福司、大高、小山の4名が担当。引率の先生からは「生徒は日頃と違ってガイドの話を皆聞いていました」とのことでした。

96「第３回　古きを訪ねて」

10月25日(木)山木吉長氏を講師に第3回「古きを訪ねて」の講演と現地学習を実施した。第1回は平成14年11月20日に実施。テーマは「能代市街地にかつて存在した松林の跡や史跡の現地研修」。第2回目は平成15年7月12日「古い砂丘と湿地帯・松原の広がり」がテーマ。講師はいずれも山木吉長氏。

今回は午前中はサン・ウッドで古地図を使って事前学習。

その内容は①井坂会館の「風の松原に関連した資料」の解説　②樽子山の松原の広がりは23町歩　③クロマツ植林の「番小屋」(能代公園内)　④石川理紀之助翁の歌碑(能代公園二の丸)(歌は「むつまじく親子はらから打ちつどひ笑ふにまさる声なかりけり　貞道)。

午後は能代公園から御指南町の井坂記念館へ。その後、駅前の最上結社(サイジョウサマ)、北高校前庭で松原の広がりの説明を受けた。

予定時間オーバーのため、予定していた栗田定之丞の頌徳碑、坊主山の跡地、長崎沼等に行くことは出来なかった。

97　松原学習のお手伝い

今年度も本会の会員が小中学校や幼稚園等で松原学習のお手伝いを何度も実施した。

9月には東能代幼稚園児と父母の松原散策。11月には能代一中で松原の植物について。南中学校生徒との室内学習と現地学習。第四小３年生の松原学習など。また「風の松原での盲導犬ガイドのお手伝い」もあった。写真は第四小で説明する福司副会長。

98　生活環境保全事業の現地説明会

12月21日(金)米代西部森林管理署から「19年度生活環境保全林整備事業」等について現地説明を受けた。今年の事業の一つは昨年度完成した日和山の「健康づくりのみち」からトリムランニングコースへ周回できるようにすること。

陸上競技場から日和山へは車いすで上がることが出来るようにジグザグコース、２メートル幅、接着剤で固めるウッドチップ歩道。五輪塔からジョギングコース51番地点まで下るコースは急斜面のため階段状のコースとなる。

また案内板やベンチ付き標識を増設し歩道利用者の便宜を図る。3月上旬で八割方出来上がってきていた。雪融けが楽しみである。